

6-2 東北支部

1. 支部の現状

- | | |
|----------------|-------|
| (1) 令和元年度末会員数 | 103 社 |
| (2) 令和2年度入会会員数 | 1 社 |
| (3) 令和2年度退会会員数 | 0 社 |
| (4) 令和2年度末会員数 | 104 社 |

2. 令和元年度の活動実績

2-1 地域への貢献活動

- (1) 社会貢献活動
行政機関と共催の高校生対象の橋梁模型作品発表会の開催
- (2) <新型コロナ感染症拡大により急遽中止とした講演会等>
 - a) 一般市民を対象とした講演会
 - b) 新技術展示会「EE 東北'20」・・・実行委員会決議による

2-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 講習会・講演会・研修会
 - ・ 河川講習会
<開催方法を変更し開催したもの>
 - ・ 道路・構造講習会（Web開催）
 - ・ 本部委員会の講習会（マネジメント、エラー防止）（Web開催）
 - ・ 独占禁止法の遵守に関する研修会
（研修講師資料・研修教本を全会員に配布する事により実施）
<新型コロナ感染症拡大によりのため急遽中止した講習会>
 - ① 地盤・防災
 - ② ICT
- (2) 現場見学会
<新型コロナ感染症拡大により急遽現場見学会を全て中止>
 - ① 道路、構造
 - ② 河川、環境
 - ③ 地盤・防災
- (3) 官公庁職員研修への研修講師の派遣
国、県市職員研修に講師を派遣＝42 講座 65 名派遣
- (4) 意見交換会
 - ・ 東北地方整備局 2回
 - ・ 東北6県および仙台市 各1回

- (5) 会誌「JCCA 東北」発行
・ 2回発行 1回の発行部数 1,000 部

3. 令和3年度の活動予定

3-1 地域への貢献活動

- (1) 行政機関と共催の高校生対象の橋梁模型作品発表会の開催
- (2) 社会資本整備の必要性を広く社会に訴える講演会の開催
- (3) 新技術展示会「EE 東北'21」は「新型コロナウイルス感染症」対策を施し開催

3-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 会員各社の技術者のための技術習得を目的とした道路・構造・河川・環境・地盤・防災・ICT 各委員会の現場見学会、講習会、勉強会を実施する
- (2) 国、県市職員研修に講師を派遣する
- (3) 東北地方整備局及び東北6県、仙台市と意見交換会を実施する
- (4) 会員企業の相互の親睦を深め、健康増進、リフレッシュを図るための交流会、スポーツ行事を実施する
- (5) 会誌「JCCA 東北」を年2回発行する
- (6) 「東北土木技術人材育成協議会」による「基礎技術講習会」等に参画する
- (7) 「若手の会」による若手技術者との講習会・官民交流会等を実施する
- (8) 支部サーバーを開設し講習会等のビデオ研修や各種情報を掲載する

4. その他

大震災から 10 年の区切りの年となった中で、復興道路をはじめする基盤インフラ整備はほぼ完成してきたが、令和3年2月の福島県沖地震の発生等災害対応の強化等取り組むべき課題は急増しているが、迅速な災害対応を進めていく。一方、「新型コロナウイルス感染症」拡大等の今後の推移により、活動の中止や縮小も考慮しなければならないが、社会資本整備でのコンサルタントに求められる役割を果たしていく。